

埼玉県議会議員

あらい一徳

令和2年3月
 発行：あらい一徳
 あらい一徳県政調査事務所
 〒364-0031 北本市中央1-81
 Tel.048-594-1600 Fax048-594-1602

県政調査事務所は、月～金のAM9:30～PM5:30に
 開設中。ご意見ご要望をお寄せください。

安心、安全で豊かな暮らしの実現を目指して

令和2年度も安心・安全で豊かな暮らしの実現のために全力投球!!

令和になって初めての本格的な予算審議の場となる令和2年2月定例会が2月20日から3月27日まで37日間の日程で開かれました。今定例会では、過去最大規模となる1兆9,603億円に上る一般会計当初予算案をはじめ、新型コロナウイルス対策を盛り込んだ補正予算案などの各会計予算案や各条例案などを審議しました。

過去最大規模の予算 ～安心・元気のスタートアップ予算～

令和になって初めてであり、大野元裕知事のもとで初めて編成された令和2年度一般会計予算について、大野知事は「安心・元気のスタートアップ予算」と命名しました。

大野知事は、本県が持続可能な発展・成長を遂げるためには、課題を先送りせず、将来にツケを残すことがないように、来るべき人口減少や少子高齢化など、さまざまな難関に対して積極果敢に挑戦し、答えを出していく必要があるとしています。

その上で、こうした社会情勢の変化を大きな社会変革へのチャンスとして捉える意識が重要であり、「誰一人取り残さない」どの地域も取り残すことのない「社会を実現し、すべての県民が日本一暮らしやすいと実感できる時代」にしていかなければならない、と強調しています。

こうした基本的な考えのもと、「安心・安全しつかり確保」、「持続可能な成長・発展」、「誰もがいきいき活躍」を3本柱に据え、新たな施策を展開するとしています。

具体的には、近年頻発している台風などの自然災害を受けて、県土強化に向けた各種インフラ整備や、救急医療体制の強化、先端産業の創造による地域経済の活性化、少子高齢化時代において、コンパクトなまちづくりを目指す「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」の推進などに關する施策が盛り込まれました。

また、今夏には東京2020オリンピック・パラリンピックも控えていることから、埼玉の魅力発信などにも取り組むとしています。

このほか、猛威をふるう新型コロナウイルス対策として、県民の不安解消や感染防止の体制強化を念頭に置いた施策にも重点的な予算配分がされました。(施策詳細は裏面の別稿に掲載しました)

令和2年度の主な北本市内の事業

令和2年度の本県事業に向けまして、北本市民の皆様から多くのご要望をいただき、私もその実現のために日ごろより、精力的な活動を続けてきました。その結果、市民の皆様の安心・安全を守るためのインフラ整備など、多くの事業が実施されることになりました。その主な事業は次の通りです。(①～⑦は道路や河川の整備です)

① 県道鴻巣桶川さいたま線(中山道)の整備

本宿市内にある未整備区間において、土壌の改良や車道・歩道の整備などが実施されます。



② 県道蓮田鴻巣線の整備

宮内地区において、老朽化で損傷した路面の舗装修繕が行われます。

③ 県道下石戸上菅蒲線の整備

緑1丁目地区において、老朽化で損傷した路面(歩道)の舗装修繕が行われます。

④ 県道下石戸上菅蒲線の歩道拡幅

宮内地区において、中丸小学校への安全な通学対策などを目的として、道路北側で歩道拡幅の整備が始まります。

⑤ 県道東松山桶川線における橋梁整備

一級河川・荒川にかかる荒井橋の老朽化対策で、橋脚補強や落橋防止のための工事が行われます。



⑥ 国道17号バイパス・上尾道路(Ⅱ期区間)の整備

北本市石戸宿から鴻巣市箕田のⅡ期区間において、調査設計や用地買収などに引き続き取り組みます。

⑦ 赤堀川における水害対策

台風による大雨被害などを受け、左岸の護岸整備や右岸の盛土などが行われます。



⑧ 県立北本高等学校の学習環境整備

県立北本高等学校のグラウンド整備のほか、耐震化事業として、部室棟の耐震診断が実施されます。

⑨ 特別支援学校の整備

県立北本高等学校内に特別支援学校(分校)開校に向けた整備が始まります。詳細は別稿をご参照ください。



⑩ 自然ふれあい施設管理

北本市西部にある緑豊かな自然学習センター、北本自然観察公園の管理運営が行われます。

⑪ 学校応援団推進事業

北本市が進める学校応援団活動に要する費用が補助されます。

⑫ 放課後子供教室推進事業

北本市が進める放課後子供教室などに対し、事業の運営費が補助されます。

